

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-509458(P2000-509458A)

【公表日】平成12年7月25日(2000.7.25)

【出願番号】特願平9-539071

【国際特許分類第7版】

F 02M 35/14

【F I】

F 02M 35/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月23日(2004.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 4月23日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

特願平9-539071号

2. 補正をする者

ドナルドソン カンパニー、インコーポレイティド

3. 代理人

〒102-0094

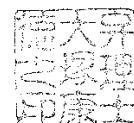
東京都千代田区紀尾井町3番6号

秀和紀尾井町パークビル7F

TEL 03(5276)3241(代表)

FAX 03(5276)3242(代表)

(7642) 弁理士 大塚 康徳
連絡先 担当 大塚 康徳



4. 補正の対象

特許請求の範囲

5. 補正の内容

別紙の通り



付書 16

請求の範囲

1. 上流から下流までの流れを有するハウジング内に直列配置される共振器とフィルタ装置であって、

(a) フィルタ媒体を含むフィルタエレメントであって、前記フィルタ媒体は流路の部屋の壁を形成するために波形のシートと少なくとも1枚の対面シートを互いに固定し、前記流路の部屋の壁は、上流側から下流側に向かう方向に沿って延設される複数の流路室を規定し、前記流路室は対向する開口端と閉口端を有し、流体の流れは前記流路の部屋の壁を通過し、開口した下流端から流出されるフィルタエレメントと、

(b) 前記ハウジングの下流の内部において前記フィルタエレメントの前記開口した下流端に近接して配置される共振室と、

(c) 前記共振室の内部に配置される管体と、を備え、

(d) 前記フィルタエレメントが前記ハウジングの中で直列に配置される、ことを特徴とする直列な共振器とフィルタ装置。

2. 前記フィルタエレメントと前記共振室とを单一のハウジング内において一体的に形成したことを特徴とする請求項1に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

3. 前記管体は、前記ハウジング内において長手方向に延設されることを特徴とする請求項1または2に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

4. 前記フィルタエレメントは、長方形の断面形状を有することを特徴とする請求項1または2に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

5. 前記フィルタエレメントは、フィルタモジュールを具備し、前記共振室は前記フィルタモジュールに係合するように構成された共振モジュールの中に形成されることを特徴とする請求項1に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

6. 前記ハウジング内において同軸上に整列した第1共振器と第2共振器を、

さらに具備することを特徴とする請求項 1 に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

7. 前記フィルタエレメントと前記共振室は同軸上に整列されることを特徴とする請求項 1 に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

8. 前記ハウジングは、入口と前記入口と同軸の出口を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

9. 前記フィルタエレメントは、前記ハウジング内で並べて配置される第 1 フィルタエレメントと第 2 フィルタエレメントを、具備することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

10. 前記共振室は、前記フィルタエレメントを囲むことを特徴とする請求項 9 に記載の直列な共振器とフィルタ装置。

11. 前記フィルタ装置は、エンジンに取り付けられ、前記エンジンは弧状部を有する吸気マニホールドを有し、前記共振室は、前記弧状部により形成される空間に位置するようにして前記吸気マニホールドに接続されることを特徴とする請求項 1 に記載の直列な共振器とフィルタ装置。